

横浜市及びフィリピン港湾庁の協力に向けた共同声明について

横浜港の港湾管理者である横浜市と、フィリピン国の主要港であるマニラ港をはじめとした諸港の港湾管理者であるフィリピン港湾庁は、共同声明を発表しました。

1 経緯

横浜市とフィリピン・マニラ市は、平成 27 年に姉妹都市提携 50 周年を迎え、長きにわたる友好関係を築いてきました。同年 9 月に、フィリピン港湾庁総裁一行が横浜港を訪問されたことを契機に、港湾分野においても交流を深め、その後も、港湾管理者として情報交換を行ってきました。

このたび、フィリピン港湾庁総裁が来日される機会を捉えて、2 月 10 日にそれぞれの経験や知見の共有を通じ、お互いの港の発展のために相互協力を進めることとし、共同声明を発表しました。

本件は、平成 26 年 4 月に締結したタイ港湾庁とのパートナーシップ連携に続く、東南アジアの港湾との協力案件になります。

2 共同声明の内容

別紙のとおり

3 今後について

具体的な連携内容については、今後、両者で情報交換をしながら進めていきます。

(概訳)

横浜市及びフィリピン港湾庁の協力に向けた共同声明

横浜市とフィリピン港湾庁は、経験や知見の共有を通じ、お互いの港の発展のために相互協力を進めることを確認する。

協力は次の事項に関する情報及び成功事例の共有を含む。

- 1 港湾施設の整備と維持保全に関すること
- 2 港湾管理・運営及び貿易貨物に関すること
- 3 港湾の安全と防災対策に関すること
- 4 港湾の環境対策に関すること

上の事項について確認し、横浜市及びフィリピン港湾庁の代表者は、この共同声明を締結する。本共同声明は英語で2通作成され、双方が1部ずつ保管する。

横浜市
平成 29 年 2 月 10 日

フィリピン港湾庁
平成 29 年 2 月 10 日

副市長

フィリピン港湾庁総裁

Joint Statement on Cooperation between
the City of Yokohama, Japan, and
the Philippine Ports Authority, the Philippines

The City of Yokohama and the Philippine Ports Authority hereby confirm that the both parties shall seek to deepen mutual cooperation through sharing experience and expertise to realize mutual advantages and benefits.

The cooperation embraces exchanging information and best practices on the following issues:

1. Port development and maintenance
2. Port management, port operation and trade cargo
3. Port safety and disaster prevention
4. Port environmental issues

Having confirmed the above, the representatives of both the City of Yokohama and the Philippine Ports Authority have concluded in this Statement in the English language, in duplicate, each party keeping one of the originals.

City of Yokohama
February 10, 2017

Philippine Ports Authority
February 10, 2017

Hidetoshi Hirahara
Deputy Mayor
City of Yokohama

Jay Daniel R. Santiago
General Manager
Philippine Ports Authority